

令和6年1月30日

千葉県報第13909号別冊

# 千葉県 の 公 営 企 業

第 107 回

令 和 5 年 度 下 期

# 目 次

1. 上水道事業会計	
I 令和5年度上期の事業概況	3
1. 事業の概況	3
2. 経理の状況	4
II 令和4年度の決算状況	8
1. 事業の概況	8
2. 経理の状況	9
2. 工業用水道事業会計	
I 令和5年度上期の事業概況	15
1. 事業の概況	15
2. 経理の状況	16
II 令和4年度の決算状況	20
1. 事業の概況	20
2. 経理の状況	21
3. 造成土地管理事業会計	
I 令和5年度上期の事業概況	27
1. 事業の概況	27
2. 経理の状況	29
II 令和4年度の決算状況	33
1. 事業の概況	33
2. 経理の状況	35
4. 病院事業会計	
I 令和5年度上期の事業概況	41
1. 事業の概況	41
2. 経理の状況	45
II 令和4年度の決算状況	49
1. 事業の概況	49
2. 経理の状況	55
5. 流域下水道事業会計	
I 令和5年度上期の事業概況	61
1. 事業の概況	61
2. 経理の状況	62
II 令和4年度の決算状況	66
1. 事業の概況	66
2. 経理の状況	67

# 1. 上水道事業会計

# I 令和5年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

千葉県上水道事業は、昭和11年に給水を開始して以来、お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として、事業運営に努めてきたところです。

本期は、『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づき、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」の実現に向けて、事業の推進を図りました。

### (1) 工事の状況

本期の主な工事としては、浄水場整備事業として、北総浄水場においてろ過池設備の更新工事、ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業の場内連絡管布設工事、配水管整備事業として、千葉市花見川区千種町173番地先配水管整備工事等を実施しました。

### (2) 給水及び業務の状況

本期における給水栓数は148万7,856栓、給水量は1億5,623万3,122立方メートル、有収水量は1億5,095万8,023立方メートルであり、前年同期と比べ給水栓数は1.2パーセント増加し、給水量は0.9パーセント減少、有収水量は0.7パーセント減少しました。

## 給水及び業務の概要について

区 分	給 水 栓 数	給 水 量	有 収 水 量
令和5年度上期	1,487,856 <sup>栓</sup>	156,233,122 <sup>m<sup>3</sup></sup>	150,958,023 <sup>m<sup>3</sup></sup>
令和4年度上期	1,470,736	157,647,902	152,065,960
比 較	差 引 き	17,120	△1,107,937
	増 減 率	1.2%	△0.9%
			有収率 5年度上期 96.6% 4年度上期 96.5%

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業収益	82,559,488		82,559,488	40,718,793	49.3 %
営業収益	69,209,932		69,209,932	33,555,861	48.5
営業外収益	13,349,556		13,349,556	7,153,259	53.6
特別利益				9,673	

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業費用	79,609,929		79,609,929	39,577,242	49.7 %
営業費用	77,385,087		77,385,087	38,683,091	50.0
営業外費用	2,106,663		2,106,663	891,620	42.3
特別損失	18,179		18,179	2,531	13.9
予備費	100,000		100,000		

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	29,354,547	11,092,954	40,447,501	531,149	1.3 %
企 業 債	25,000,000	11,000,000	36,000,000		
工 事 負 担 金	2,995,720	92,954	3,088,674	250,658	8.1
開 発 負 担 金	1,095,063		1,095,063	280,491	25.6
受 託 事 業 収 入	4,001		4,001		
そ の 他 資 本 収 入	259,763		259,763		

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	71,483,214	18,113,847	89,597,061	61,494,370	68.6 %
建 設 改 良 費	57,927,083	18,113,847	76,040,930	54,904,070	72.2
拡 張 工 事 費	268,653		268,653	39,457	14.7
企 業 債 償 還 金	13,036,815		13,036,815	6,488,566	49.8
年 賦 償 還 金	250,663		250,663	62,277	24.8

## (2) 損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	29,749,974	営 業 収 益	30,588,993
原水及び浄水費	8,380,465	給水収益	29,334,471
配水費	2,033,857	分水収益	295,168
給水費	1,727,545	受託工事収益	77,239
受託工事費	78,919	その他の営業収益	882,115
業務費	2,262,722	営業外収益	6,846,408
総係費	695,687	給水申込納付金	2,045,160
減価償却費	14,170,214	受取利息及び配当金	1,983
資産減耗費	398,660	長期前受金戻入	3,706,521
その他の営業費用	1,905	雑収益	1,089,380
営業外費用	891,620	負担金	3,364
支払利息及び企業債取扱諸費	891,596	特別利益	8,821
雑支出	24	過年度損益修正益	8,521
特別損失	2,328	その他特別利益	300
過年度損益修正損	2,328		
当期純利益	6,800,300		
合 計	37,444,222	合 計	37,444,222

## (3) 貸借対照表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	760,351,226	固 定 負 債	132,705,789
有 形 固 定 資 産	625,149,591	企 業 債	126,117,859
土 地	42,678,383	年 賦 未 払 金	1,197,472
償 却 資 産	1,150,242,527	リ ー ス 債 務	757,876
減 価 償 却 累 計 額	△634,245,256	引 当 金	4,594,297
建 設 仮 勘 定	66,473,937	そ の 他 固 定 負 債	38,285
無 形 固 定 資 産	132,773,058	流 動 負 債	22,348,686
投 資 そ の 他 の 資 産	2,428,577	企 業 債	6,548,248
流 動 資 産	41,145,105	リ ー ス 債 務	155,537
現 金 預 金	21,365,233	未 払 金	7,039,258
未 収 金	7,796,466	年 賦 未 払 金	176,864
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△163,110	前 受 金	1,320,178
貯 蔵 品	247,956	そ の 他 流 動 負 債	7,108,601
前 払 金	9,662,528	繰 延 収 益	204,940,972
そ の 他 流 動 資 産	2,236,032	長 期 前 受 金	396,371,080
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△191,430,108
		負 債 計	359,995,447
		資 本 金	390,498,552
		剰 余 金	51,002,332
		資 本 剰 余 金	40,308,125
		利 益 剰 余 金	10,694,207
		資 本 計	441,500,884
合 計	801,496,331	合 計	801,496,331



## Ⅱ 令和4年度の決算状況

### 1. 事業の概況

千葉県上水道事業は、昭和11年に給水を開始して以来、お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として、事業運営に努めてきたところです。

令和4年度は、『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づき、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」の実現に向けて、事業の推進を図りました。

#### (1) 工事の状況

令和4年度は、浄水場整備事業として、柏井浄水場東側施設の汚水池返送ポンプ設備の更新工事、配水管整備事業として、船橋市上山町2丁目488番地先配水管整備工事等を実施しました。

#### (2) 給水及び業務の状況

令和4年度末における給水人口は307万2,430人、給水栓数は148万259栓であり、前年度末と比較すると、人口において0.3パーセント、栓数において1.3パーセントそれぞれ増加しました。

年間給水量は3億1,425万4,786立方メートル、年間有収水量は3億387万9,239立方メートルとなり、前年度末と比較すると、給水量において1.4パーセント、有収水量において1.8パーセントそれぞれ減少しました。また、一日平均給水量は86万972立方メートル、一日最大給水量は7月1日の93万1,830立方メートルでした。

### 給水及び業務の概要について

区 分	給水人口	給水栓数	年間給水量	年間有収水量
令和4年度末	3,072,430 <sup>人</sup>	1,480,259 <sup>栓</sup>	314,254,786 <sup>m<sup>3</sup></sup>	303,879,239 <sup>m<sup>3</sup></sup>
令和3年度末	3,064,635	1,461,160	318,756,899	309,463,084
比 較	差引き	7,795	19,099	△4,502,113
	増減率	0.3%	1.3%	△1.4%
				有収率 4年度 96.7% 3年度 97.1%

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業収益	82,450,788		82,450,788	82,570,925	100.1 %
営業収益	69,158,604		69,158,604	68,934,153	99.7
営業外収益	13,239,144		13,239,144	13,583,317	102.6
特別利益	53,040		53,040	53,455	100.8

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
水道事業費用	79,011,848	90,396	79,102,244	74,881,058	94.7 %
営業費用	76,576,957	90,396	76,667,353	72,860,391	95.0
営業外費用	2,191,815		2,191,815	1,886,107	86.1
特別損失	143,076		143,076	134,560	94.0
予備費	100,000		100,000		

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	24,464,724	8,646,201	33,110,925	15,507,860	46.8 %
企 業 債	21,500,000	8,500,000	30,000,000	13,000,000	43.3
国 庫 補 助 金	2,198		2,198	2,159	98.2
工 事 負 担 金	1,624,859	146,201	1,771,060	1,240,737	70.1
開 発 負 担 金	1,024,625		1,024,625	1,133,486	110.6
受 託 事 業 収 入	101,043		101,043	101,392	100.3
そ の 他 資 本 収 入	211,999		211,999	30,086	14.2

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	59,800,359	19,809,505	79,609,864	57,113,389	71.7 %
建 設 改 良 費	46,740,050	19,809,505	66,549,555	44,194,697	66.4
拡 張 工 事 費	374,192		374,192	232,576	62.2
企 業 債 償 還 金	12,406,178		12,406,178	12,406,178	100.0
年 賦 償 還 金	252,981		252,981	252,981	100.0
そ の 他 資 本 支 出	26,958		26,958	26,957	100.0

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	69,576,356	営 業 収 益	62,834,253
原水及び浄水費	21,183,485	給水収益	58,631,863
配水費	5,953,663	分水収益	706,829
給水費	4,238,829	受託工事収益	365,226
受託工事費	365,226	その他の営業収益	3,130,335
業務費	5,217,670	営業外収益	12,830,061
総係費	2,191,757	給水申込納付金	3,703,876
減価償却費	28,320,023	受取利息及び配当金	4,036
資産減耗費	2,100,975	負担金	10,859
その他の営業費用	4,728	長期前受金戻入	7,500,874
営業外費用	2,113,704	雑収益	1,610,416
支払利息及び企業債取扱諸費	1,885,542	特別利益	53,455
雑支出	228,162	過年度損益修正益	52,630
特別損失	133,801	その他特別利益	825
過年度損益修正損	133,801		
当期純利益	3,893,908		
合 計	75,717,769	合 計	75,717,769

## (3) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	763,784,681	固 定 負 債	132,608,502
有 形 固 定 資 産	626,980,908	企 業 債	126,117,859
土 地	42,678,383	年 賦 未 払 金	1,197,472
償 却 資 産	1,150,580,629	リ ー ス 債 務	657,455
減 価 償 却 累 計 額	△622,373,392	引 当 金	4,597,431
建 設 仮 勘 定	56,095,288	そ の 他 固 定 負 債	38,285
無 形 固 定 資 産	134,375,197	流 動 負 債	41,329,323
投 資 そ の 他 の 資 産	2,428,576	企 業 債	13,036,815
流 動 資 産	52,383,303	リ ー ス 債 務	284,090
現 金 預 金	39,456,216	未 払 金	22,905,319
未 収 金	8,122,994	年 賦 未 払 金	239,140
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△163,221	前 受 金	356,143
貯 蔵 品	248,054	引 当 金	555,332
前 払 金	4,719,260	そ の 他 流 動 負 債	3,952,484
		繰 延 収 益	207,529,574
		長 期 前 受 金	395,262,394
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△187,732,820
		負 債 計	381,467,399
		資 本 金	390,498,552
		剰 余 金	44,202,033
		資 本 剰 余 金	40,308,125
		利 益 剰 余 金	3,893,908
		資 本 計	434,700,585
合 計	816,167,984	合 計	816,167,984

## 2. 工業用水道事業会計

## I 令和5年度上期の事業概況

### 1. 事業の概況

本期における工業用水道事業は、給水事業及び水資源開発事業を前年度に引き続き実施しました。  
これらの概況は次のとおりです。

#### 給水事業

本期における給水事業は、東葛・葛南地区工業用水道事業ほか6事業を実施しました。  
なお、各地区の業務状況は次のとおりです。

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

区 分	給 水 企 業 数	本 期 給 水 量	一 日 平 均
東 葛 ・ 葛 南 地 区	104 社	10,980,050 m <sup>3</sup>	60,000 m <sup>3</sup>
千 葉 地 区	26	15,101,157	82,520
五 井 市 原 地 区	19	12,741,613	69,626
五 井 姉 崎 地 区	40	52,280,803	285,687
房 総 臨 海 地 区	72	16,800,254	91,805
木 更 津 南 部 地 区	17	29,466,583	161,020
北 総 地 区	5	14,066	77
合 計	283	137,384,526	750,735

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	2,122,732		2,122,732	1,068,104	50.3
千葉地区	1,528,419		1,528,419	764,318	50.0
五井市原地区	1,001,319		1,001,319	519,146	51.8
五井姉崎地区	3,428,437		3,428,437	1,714,698	50.0
房総臨海地区	3,949,094		3,949,094	1,961,645	49.7
木更津南部地区	1,984,673		1,984,673	993,268	50.0
北総地区	14,236		14,236	5,306	37.3
工業用水道事業関連収益	4,638		4,638	3,719	80.2
合 計	14,033,548		14,033,548	7,030,204	50.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	1,956,398		1,956,398	999,672	51.1
千葉地区	770,656		770,656	388,766	50.4
五井市原地区	420,281		420,281	191,461	45.6
五井姉崎地区	1,096,696		1,096,696	553,186	50.4
房総臨海地区	2,830,014		2,830,014	1,366,717	48.3
木更津南部地区	1,789,070		1,789,070	866,401	48.4
北総地区	24,621		24,621	9,608	39.0
工業用水道事業関連費用	4,741,199		4,741,199	2,491,480	52.5
合 計	13,628,935		13,628,935	6,867,291	50.4



イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東 葛 ・ 葛 南 地 区	415,100	51,255	466,355	82,913	17.8
千 葉 地 区	103,300		103,300		
五 井 市 原 地 区	3,100	14,100	17,200		
五 井 姉 崎 地 区	155,000	12,950	167,950		
房 総 臨 海 地 区					
木 更 津 南 部 地 区	18,665	40,745	59,410	4,385	7.4
北 総 地 区					
工業用水道関連事業	3,064,937		3,064,937		
合 計	3,760,102	119,050	3,879,152	87,298	2.3

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東 葛 ・ 葛 南 地 区	2,447,740	507,425	2,955,165	2,237,768	75.7
千 葉 地 区	810,881	18,000	828,881	417,209	50.3
五 井 市 原 地 区	476,757	772,315	1,249,072	968,030	77.5
五 井 姉 崎 地 区	4,421,014	150,727	4,571,741	2,194,487	48.0
房 総 臨 海 地 区	1,433,932		1,433,932	392,423	27.4
木 更 津 南 部 地 区	782,048	676,081	1,458,129	806,787	55.3
北 総 地 区	45,754		45,754		
工業用水道関連事業	260,456		260,456	234,633	90.1
合 計	10,678,582	2,124,548	12,803,130	7,251,337	56.6

## (2) 損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	5,017,480	営 業 収 益	5,564,673
東葛・葛南地区	667,495	東葛・葛南地区	812,745
千葉地区	331,706	千葉地区	665,400
五井市原地区	162,835	五井市原地区	419,791
五井姉崎地区	505,149	五井姉崎地区	1,464,390
房総臨海地区	1,364,651	房総臨海地区	1,392,857
木更津南部地区	502,076	木更津南部地区	806,731
北総地区	7,589	北総地区	2,759
工業用水道事業関連	1,475,979	営 業 外 収 益	888,506
営 業 外 費 用	132,437	東葛・葛南地区	174,044
東葛・葛南地区	2,738	千葉地区	32,379
千葉地区	56,466	五井市原地区	55,212
五井市原地区	14,812	五井姉崎地区	103,868
五井姉崎地区	45,441	房総臨海地区	416,042
木更津南部地区	12,980	木更津南部地区	101,262
当 期 純 利 益	1,303,262	北 総 地 区	2,272
		工業用水道事業関連	3,427
合 計	6,453,179	合 計	6,453,179

## (3) 貸借対照表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	154,857,840	固 定 負 債	36,890,587
有 形 固 定 資 産	81,388,963	企 業 債	13,034,334
土 地	7,091,593	他 会 計 借 入 金	22,195,338
償 却 資 産	183,863,408	年 賦 未 払 金	911,892
減 価 償 却 累 計 額	△123,796,569	引 当 金	732,335
建 設 仮 勘 定	14,230,531	リ ー ス 債 務	7,117
無 形 固 定 資 産	73,441,658	そ の 他 固 定 負 債	9,571
投 資 そ の 他 の 資 産	27,219	流 動 負 債	2,736,879
流 動 資 産	38,670,751	企 業 債	956,536
現 金 及 び 預 金	36,514,643	他 会 計 借 入 金	1,000,000
未 収 金	1,042,404	年 賦 未 払 金	52,970
貯 蔵 品	66,419	未 払 金	138,382
そ の 他 流 動 資 産	1,047,285	リ ー ス 債 務	2,833
		そ の 他 流 動 負 債	586,158
		繰 延 収 益	35,461,625
		長 期 前 受 金	89,383,326
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△53,921,701
		負 債 計	75,089,091
		資 本 金	103,798,602
		剰 余 金	14,640,898
		資 本 剰 余 金	10,139,145
		利 益 剰 余 金	4,501,753
		資 本 計	118,439,500
合 計	193,528,591	合 計	193,528,591

## Ⅱ 令和4年度の決算状況

### 1. 事業の概況

令和4年度における工業用水道事業は、給水事業及び水資源開発事業を前年度に引き続き実施しました。

#### 給水事業

令和4年度における給水事業は、東葛・葛南地区工業用水道事業ほか6事業を実施しました。  
なお、各地区の業務状況は次のとおりです。

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

区 分	給 水 企 業 数	本 期 給 水 量	一 日 平 均
東 葛 ・ 葛 南 地 区	104 <sup>社</sup>	20,793,548 <sup>m<sup>3</sup></sup>	57,081 <sup>m<sup>3</sup></sup>
千 葉 地 区	26	29,999,883	82,127
五 井 市 原 地 区	17	24,627,078	67,503
五 井 姉 崎 地 区	40	106,210,024	291,028
房 総 臨 海 地 区	72	33,136,710	90,820
木 更 津 南 部 地 区	18	61,069,024	166,909
北 総 地 区	5	24,275	67
合 計	282	275,860,542	755,535

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	2,184,596		2,184,596	2,199,063	100.7
千葉地区	1,286,653		1,286,653	1,286,664	100.0
五井市原地区	1,005,071		1,005,071	1,002,076	99.7
五井姉崎地区	3,038,618		3,038,618	3,038,324	100.0
房総臨海地区	4,210,596		4,210,596	4,214,132	100.1
木更津南部地区	2,053,232		2,053,232	2,022,753	98.5
北総地区	14,231		14,231	13,261	93.2
工業用水道事業関連収益	15,962		15,962	16,223	101.6
合 計	13,808,959		13,808,959	13,792,496	99.9

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	1,834,388		1,834,388	1,750,131	95.4
千葉地区	779,580		779,580	777,947	99.8
五井市原地区	437,725		437,725	415,935	95.0
五井姉崎地区	1,105,891		1,105,891	1,104,754	99.9
房総臨海地区	2,791,921		2,791,921	2,791,292	100.0
木更津南部地区	1,904,590	35,774	1,940,364	1,854,625	95.6
北総地区	20,092		20,092	19,989	99.5
工業用水道事業関連費用	4,561,418	2,318	4,563,736	4,234,926	92.8
合 計	13,435,605	38,092	13,473,697	12,949,599	96.1

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	283,310	26,550	309,860	155,880	50.3
千葉地区	6,282		6,282	5,908	94.0
五井市原地区	14,100		14,100		
五井姉崎地区	84,900		84,900		
房総臨海地区					
木更津南部地区	340,993		340,993	351,288	103.0
北総地区					
工業用水道関連事業	3,007,518		3,007,518	3,007,521	100.0
合 計	3,737,103	26,550	3,763,653	3,520,597	93.5

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
東葛・葛南地区	2,828,730	171,518	3,000,248	2,213,675	73.8
千葉地区	680,316	47,363	727,679	704,286	96.8
五井市原地区	1,395,164	20,269	1,415,433	523,924	37.0
五井姉崎地区	1,181,701	46,512	1,228,213	994,033	80.9
房総臨海地区	1,209,381	20,491	1,229,872	1,222,371	99.4
木更津南部地区	2,362,200	410,265	2,772,465	2,006,436	72.4
北総地区	538	16,335	16,873	16,873	100
工業用水道関連事業	43,568		43,568	43,564	100.0
合 計	9,701,598	732,753	10,434,351	7,725,162	74.0

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	11,939,855	営業収益	10,509,094
東葛・葛南地区	1,680,998	東葛・葛南地区	1,620,807
千葉地区	650,989	千葉地区	1,105,966
五井市原地区	378,004	五井市原地区	832,611
五井姉崎地区	998,803	五井姉崎地区	2,555,486
房総臨海地区	2,779,145	房総臨海地区	2,777,429
木更津南部地区	1,729,322	木更津南部地区	1,608,890
北総地区	19,365	北総地区	7,905
工業用水道事業関連	3,703,229	営業外収益	2,164,788
営業外費用	294,407	東葛・葛南地区	414,597
東葛・葛南地区	7,597	千葉地区	70,025
千葉地区	121,319	五井市原地区	84,027
五井市原地区	32,684	五井姉崎地区	225,932
五井姉崎地区	100,879	房総臨海地区	1,104,896
房総臨海地区	481	木更津南部地区	246,046
木更津南部地区	31,447	北総地区	4,566
特別損失	7,352	工業用水道事業関連	14,699
東葛・葛南地区	622	特別利益	4,095
千葉地区	331	東葛・葛南地区	1,496
五井市原地区	118	千葉地区	46
五井姉崎地区	5,072	五井姉崎地区	1,348
木更津南部地区	1,060	木更津南部地区	964
工業用水道事業関連	149	工業用水道事業関連	241
当期純利益	436,363		
合計	12,677,977	合計	12,677,977

## (3) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	157,240,317	固 定 負 債	36,887,984
有 形 固 定 資 産	82,468,431	企 業 債	13,034,334
土 地	7,091,593	他 会 計 借 入 金	22,195,338
償 却 資 産	183,859,106	年 賦 未 払 金	911,892
減 価 償 却 累 計 額	△122,198,476	引 当 金	732,335
建 設 仮 勘 定	13,716,208	リ ー ス 債 務	4,514
無 形 固 定 資 産	74,744,667	そ の 他 固 定 負 債	9,571
投 資 そ の 他 の 資 産	27,219	流 動 負 債	4,862,525
流 動 資 産	37,683,812	企 業 債	1,910,581
現 金 及 び 預 金	35,867,547	他 会 計 借 入 金	1,000,000
未 収 金	1,306,858	年 賦 未 払 金	105,490
貯 蔵 品	66,419	未 払 金	1,753,080
そ の 他 流 動 資 産	442,988	引 当 金	79,717
		リ ー ス 債 務	5,015
		そ の 他 流 動 負 債	8,642
		繰 延 収 益	36,037,381
		長 期 前 受 金	89,300,412
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△53,263,031
		負 債 計	77,787,890
		資 本 金	103,798,603
		剰 余 金	13,337,636
		資 本 剰 余 金	10,139,145
		利 益 剰 余 金	3,198,491
		資 本 計	117,136,239
合 計	194,924,129	合 計	194,924,129



### 3. 造成土地管理事業會計

## I 令和5年度上期の事業概況

### 1. 事業の概況

造成土地管理事業では、土地及び施設の譲渡、貸付け及び管理等を行っています。なお、本期末における土地処分状況は次のとおりです。

## 土地処分状況

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千㎡)

区分 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの 処分面積	処 分 率 (%)
1. 臨海地域土地造成整備事業	74,916	148	74,641	99.6
京    葉    港	5,808		5,726	98.6
塩    浜	55		49	89.1
富    津	4,499	148	4,312	95.8
土地処分完了地区	64,554		64,554	100
2. 新市街地造成整備事業	24,113	15	22,748	94.3
千葉北部地区	12,280		11,922	97.1
幕    張    A	2,310		1,768	76.5
幕    張    C	1,280		937	73.2
成        田	2,936		2,930	99.8
検    見    川	2,608	15	2,537	97.3
東葛飾北部流山	55		36	65.5
東葛飾北部柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
3. 内陸工業用地造成整備事業	4,504		4,457	99.0
ひ    か    り	204		195	95.6
関    宿    は    や    ま	199		167	83.9
空    港    南    部	240		234	97.5
土地処分完了地区	3,861		3,861	100
4. レクリエーション用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
5. 小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
6. 物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合        計	105,190	163	103,503	98.4

※中止地区を除く

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業収益	9,621,538		9,621,538	12,210,604	126.9
営業収益	7,976,158		7,976,158	10,811,892	135.6
営業外収益	1,645,380		1,645,380	1,398,712	85.0
2. 土地貸付事業収益	2,385,425		2,385,425	1,924,071	80.7
営業収益	2,385,425		2,385,425	1,924,071	80.7
合 計	12,006,963		12,006,963	14,134,675	117.7

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業費用	12,128,250	20,361	12,148,611	5,009,356	41.2
営業費用	11,978,305	20,361	11,998,666	4,875,748	40.6
営業外費用	149,945		149,945	133,574	89.1
特別損失				34	-
2. 土地貸付事業費用	543,832		543,832	488,333	89.8
営業費用	543,832		543,832	488,333	89.8
3. 予 備 費	50,000		50,000		
合 計	12,722,082	20,361	12,742,443	5,497,689	43.1

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	1,303,380		1,303,380	257,500	19.8
貸 付 金 収 入	1,157,500		1,157,500	257,500	22.2
関 連 収 入	145,880		145,880		
合 計	1,303,380		1,303,380	257,500	19.8

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	4,369,171		4,369,171	1,321,535	30.2
固 定 資 産 取 得 費	70,816		70,816	62,929	88.9
投 資	3,000,000		3,000,000		
建 設 改 良 費	1,298,355		1,298,355	1,258,606	96.9
合 計	4,369,171		4,369,171	1,321,535	30.2

(2) 損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	4,686,194	営 業 収 益	12,732,472
土 地 分 譲 原 価	3,583,780	土 地 分 譲 収 益	10,767,613
一 般 管 理 費	564,207	土 地 貸 付 収 益	1,924,071
減 価 償 却 費	57,099	そ の 他 営 業 収 益	40,788
そ の 他 営 業 費 用	481,108	営 業 外 収 益	1,395,884
営 業 外 費 用	133,574	受 取 利 息 及 び 配 当 金	345,793
雑 支 出	133,574	雑 収 益	1,050,091
特 別 損 失	34		
そ の 他 特 別 損 失	34		
当 期 純 利 益	9,308,554		
合 計	14,128,356	合 計	14,128,356

## (3) 貸借対照表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	169,092,380	固 定 負 債	2,478,554
有 形 固 定 資 産	104,092,580	繰 延 割 賦 売 却 益	12,784
土 地	101,375,802	リ ー ス 債 務	3,117
償 却 資 産	6,246,994	引 当 金	828,598
減 価 償 却 累 計 額	△3,636,507	そ の 他 固 定 負 債	1,634,055
建 設 仮 勘 定	106,291	流 動 負 債	2,323,866
無 形 固 定 資 産	471	リ ー ス 債 務	1,861
投 資 そ の 他 の 資 産	64,999,329	未 払 金	29,974
完 成 資 産	47,437,673	そ の 他 流 動 負 債	2,292,031
土 地 分 譲 事 業 完 成 資 産	47,437,673	繰 延 収 益	9
流 動 資 産	109,492,850	長 期 前 受 金	9
現 金 及 び 預 金	108,462,649	負 債 計	4,802,429
未 収 金	850,513	資 本 金	221,221,875
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△32	自 己 資 本 金	221,221,875
そ の 他 流 動 資 産	179,720	剰 余 金	99,998,599
		利 益 剰 余 金	99,998,599
		資 本 計	321,220,474
合 計	326,022,903	合 計	326,022,903

## Ⅱ 令和4年度の決算状況

### 1. 事業の概況

造成土地管理事業では、土地及び施設の譲渡、貸付け及び管理等を行っています。なお、本年度末における土地処分状況は次のとおりです。



## 土地処分状況

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千㎡)

区分 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの 処分面積	処 分 率 (%)
1. 臨海地域土地造成整備事業	74,916		74,493	99.4
京        葉        港	5,808		5,726	98.6
塩        浜	55		49	89.1
富        津	4,499		4,164	92.6
土地処分完了地区	64,554		64,554	100
2. 新市街地造成整備事業	24,113	41	22,734	94.3
千葉北部地区	12,280	1	11,922	97.1
幕        張        A	2,310	38	1,768	76.5
幕        張        C	1,280		937	73.2
成        田	2,936		2,930	99.8
検        見        川	2,608		2,522	96.7
東葛飾北部流山	55	2	37	67.3
東葛飾北部柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
3. 内陸工業用地造成整備事業	4,504		4,457	99.0
ひ        か        り	204		195	95.6
関        宿        は        や        ま	199		167	83.9
空        港        南        部	240		234	97.5
土地処分完了地区	3,861		3,861	100
4. レクリエーション用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
5. 小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
6. 物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合        計	105,190	41	103,341	98.2

※中止地区を除く

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業収益	12,190,333		12,190,333	11,040,694	90.6
営業収益	10,183,374		10,183,374	9,026,202	88.6
営業外収益	1,572,581		1,572,581	1,584,064	100.7
特別利益	434,378		434,378	430,428	99.1
2. 土地貸付事業収益	2,392,661		2,392,661	2,392,753	100.0
営業収益	2,392,660		2,392,660	2,392,748	100.0
営業外収益	1		1	5	451.0
合 計	14,582,994		14,582,994	13,433,447	92.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
1. 土地分譲事業費用	10,475,581		10,475,581	8,569,287	81.8
営業費用	10,040,940		10,040,940	8,137,220	81.0
営業外費用	160,476		160,476	158,524	98.8
特別損失	274,165		274,165	273,543	99.8
2. 土地貸付事業費用	557,632		557,632	516,683	92.7
営業費用	557,632		557,632	516,683	92.7
3. 予 備 費	50,000		50,000		
合 計	11,083,213		11,083,213	9,085,970	82.0

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	971,892		971,892	971,896	100.0
貸 付 金 収 入	955,000		955,000	955,000	100
関 連 収 入	16,892		16,892	16,896	100.0
合 計	971,892		971,892	971,896	100.0

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執行率 (%)
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	4,079,560		4,079,560	4,079,557	100.0
固 定 資 産 取 得 費	6,980		6,980	6,978	100.0
投 資	3,000,000		3,000,000	3,000,000	100
建 設 改 良 費	1,072,580		1,072,580	1,072,579	100.0
合 計	4,079,560		4,079,560	4,079,557	100.0

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	8,573,060	営 業 収 益	11,405,982
土 地 分 譲 原 価	2,624,970	土 地 分 譲 収 益	8,879,250
一 般 管 理 費	5,271,385	土 地 貸 付 収 益	2,392,748
減 価 償 却 費	113,675	そ の 他 営 業 収 益	133,984
資 産 減 耗 費	61,041	営 業 外 収 益	1,580,808
そ の 他 営 業 費 用	501,989	受 取 利 息 及 び 配 当 金	530,650
営 業 外 費 用	221,615	雑 収 益	1,050,158
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	8	特 別 利 益	430,429
雑 支 出	221,607	過 年 度 損 益 修 正 益	105
特 別 損 失	273,544	そ の 他 特 別 利 益	430,324
過 年 度 損 益 修 正 損	63		
そ の 他 特 別 損 失	273,481		
当 期 純 利 益	4,349,000		
合 計	13,417,219	合 計	13,417,219

## (3) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	472,450,426	固 定 負 債	3,503,275
有 形 固 定 資 産	104,149,650	繰 延 割 賦 売 却 益	1,036,612
土 地	101,375,802	リ ー ス 債 務	3,116
償 却 資 産	6,246,966	引 当 金	829,492
減 価 償 却 累 計 額	△3,579,408	そ の 他 固 定 負 債	1,634,055
建 設 仮 勘 定	106,290	流 動 負 債	4,116,899
無 形 固 定 資 産	471	リ ー ス 債 務	3,723
投 資 そ の 他 の 資 産	368,300,305	未 払 金	1,234,981
完 成 資 産	50,637,663	前 受 金	345
土 地 分 譲 事 業 完 成 資 産	50,637,663	引 当 金	79,084
流 動 資 産	98,079,839	そ の 他 流 動 負 債	2,798,766
現 金 及 び 預 金	97,874,888	繰 延 収 益	9
未 収 金	190,081	長 期 前 受 金	9
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△32	負 債 計	7,620,183
そ の 他 流 動 資 産	14,902	資 本 金	221,221,875
		自 己 資 本 金	221,221,875
		剰 余 金	90,690,046
		利 益 剰 余 金	90,690,046
		評 価 差 額	301,635,824
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額	301,635,824
		資 本 計	613,547,745
合 計	621,167,928	合 計	621,167,928

## 4. 病 院 事 業 会 計

# I 令和5年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

本事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供するため、高度・特殊な専門医療を取り扱う4病院（がんセンター・救急医療センター・精神科医療センター・こども病院）、循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び地域の中核医療を行う佐原病院の県立6病院を設置・運営しているところです。

また、救急医療センターと精神科医療センターを一体的に整備し、総合救急災害医療センターの開院に向けて準備を進めるとともに、令和3年度に策定した「千葉県立病院改革プラン」に基づいて、現在、経営改善に取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染症への対応については、重症病床を含む専用病床を確保して患者を受け入れるとともに、発熱外来等の専用外来において感染症の疑いのある患者の診療や相談を行いました。

なお、各病院の事業概況は次のとおりです。

### (1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは、「私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ、がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に、質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは、都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており、県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い、県内がん医療の均てん化に貢献しています。

また、がんゲノム医療拠点病院の指定も受けており、県内のがんゲノム医療連携病院とともに、遺伝子パネル検査を用い、推奨治療について検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を毎週開催して、72件の症例に対して治療方針を決定する等、がんゲノム医療の推進に努めました。

さらに、小児がん連携病院（類型2：特定のがん種等についての診療を行う連携病院）の指定も受けていることから、地域に質の高い小児がん医療及び支援を提供しました。

患者総合支援センターでは、ワンストップによる患者支援を実現させるため、入院支援、在宅療養支援、各種検査・手術説明、服薬指導を実施するとともに、がん患者から生活や就労に関する相談を受け、必要な支援に結びました。さらに、地域医療機関への訪問活動等を通じ、連携強化に努めました。

また、9月には、当センター、千葉県及び公益財団法人ちば県民保健予防財団の主催により、がん予防展を開催し、広く県民にがんの予防等に関する最新の情報を提供するとともに、各種がん相談を実施しました。

### (2) 救急医療センター

千葉県全域を対象とする第三次救急医療施設として、24時間体制で重症の心疾患、脳卒中、多発外傷等の患者に対して救急救命治療や、高度専門的治療を行うとともに、高度救命救急センターとして広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊救急患者の治療を行いました。

地域災害拠点病院としては、災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）を養成し、現在3隊の編成が可能となっています。

また、新医師臨床研修をはじめとして、大学の薬学部、消防局、救急救命士養成学校等、種々の学生実習や救急救命士の研修・実習を受け入れ、医療従事者の育成に努めました。

### (3) 精神科医療センター

千葉県精神科救急医療システムの中核的医療施設として、急性期患者を24時間体制で受け入れ、短期集中治療による早期社会復帰を目指すとともに、デイホスピタルやアウトリーチ（訪問看護）を実施し、患者の在宅生活と社会復帰を多職種で支援しました。

当院内に設置された精神科救急情報センターでは、精神保健福祉相談員と当直医が県下で発生する精神科救急ケースの受診相談と受診先の調整、医療情報の提供等を行っています。

さらに、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」に基づく鑑定入院を実施するとともに、指定通院医療機関として関係機関と連携して対象者の外来診療に努めています。

また、国が推進する災害派遣精神医療チーム（DPAT）事業の活動に積極的に参画し、広域災害に際して迅速に対応する先遣隊としての訓練を行っています。

### (4) こども病院

全県的な小児医療の拠点として、一般の医療機関では対応困難な各種の小児の疾患や先天性心疾患をはじめとする重度小児疾患等の患者に対して、「児童の権利に関する条約」の基本理念のもとに、高度専門的な診断・治療等の医療を提供しています。

こども・家族支援センターでは、入院退院支援加算1を算定するための体制の整備を進めています。入院時から多職種とともに退院後の生活をふまえた退院支援・在宅支援を推進しています。

地域連携については、地域の医療機関や訪問看護ステーション、学校等と連携し在宅療養環境を調整しました。6月に小児臨床症例研究会の開催し、小児を受け入れる訪問看護師のための研修会（5回）を企画し開催しています。小児等在宅医療連携拠点事業として千葉県看護協会や千葉県医療的ケア児等支援センターの企画する研修会の講師として参加し、小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。

児童虐待防止については、児童虐待防止医療ネットワーク事業の拠点病院として、地域医療機関や児童相談所、法医、検察、弁護士等との連携会議を6月・9月に開催しました。

成人移行支援については、トランジション外来の運営や、千葉県移行期医療支援センターと連携して成人の医療施設への移行を目的とした事例検討を行い、院内各部署では、ヘルスリテラシーを獲得するための自律支援に向けた取り組みについて検討しています。

医療安全対策においては、今年度より日本医療機能評価機構の医療安全文化調査活用支援プログラムに参加し、全職員対象に医療安全文化調査を6月に実施しました。医療安全文化とは、「医療に従事する全ての職員が、患者さんの安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方、およびそれを可能にする組織のあり方」と定義され、医療機関が良好な医療安全文化を醸成すると、医療チームの能力が高まり、コミュニケーションエラーが減り、医療の質が高まること等が報告されております。同プログラムに参加することで、当院の課題を可視化し、医療安全確保に向けた改革をさらに進める等、安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。

### (5) 循環器病センター

当センターは、循環器系疾患に関する高度専門的医療として、急性心筋梗塞、狭心症に対する経皮的冠動脈形成術、心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療、大動脈ステント治療、ガンマ



ナイフ治療などを行うとともに、内科や外科等の地域医療・救急医療を行い、地域における 24 時間 365 日の救急基幹センターとしての役割を担っています。

また、当センターでは、院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し、内科治療や「難治性 てんかん」に対する外科治療、社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでいます。

本年度は昨年度に引き続き、てんかんの専門医療・専門相談を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とした、「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けており、7 月には医療関係者を対象に脳波に関する web 研修会を行いました。また、9 月には県民、患者、患者家族を対象としたてんかんに関する市民公開講座を行いました。

災害拠点病院としては、災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）を編成し、自然災害はもとより、人的災害等の緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

経営面では、診療報酬の算定実績やDPC分析を行うとともに、診療報酬の算定件数の増加、新たな施設基準の獲得に向けた検討を行い、収益の増加に努めています。

設備面では、開院から 20 年を経過している当センターの、施設の長寿命化及び病院機能の充実に向けた施設改修に取り組んでおり、医療機器については、院内の各部署との協議を重ね、効果的かつ計画的な医療機器の更新を行っています。

#### (6) 佐原病院

当院は、高齢化が進展している香取地域において急性期医療を支える中核病院として、高齢者に多い肺炎、消化器系疾患、大腿骨骨折などへの対応のほか、罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに、人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として、15 科の診療科を設けており、幅広い疾患に対応できるよう外来診療や入院診療の体制を整備しております。外来診療では特に、超音波内視鏡の導入に伴う高度な医療の提供や、障害のある方及び児童への歯科治療を行うとともに、千葉大学医学部附属病院などと連携し、各専門領域の外来診療を行っています。

また、急性期医療のみではなく、在宅療養支援病院として、地域包括ケア病棟、訪問診療、24 時間 365 日体制の訪問看護ステーション等を活用し、地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。

さらに、救急基幹センターとして引き続き 24 時間 365 日の救急外来を担うほか、災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに、DMATを編成するなど、緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

加えて、令和 5 年 4 月 1 日より外科及び精神科の常勤医師が着任したことにより、外科ではより幅広い急性期医療の提供が可能となり、精神科では外来患者数の受入れ増に繋がりました。

また、5 月に地域住民を対象としたすい臓がん並びに前立腺がんに関する公開講座を行うことで、地域住民への啓発に努めました。

(7) 患者数の状況 (令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

施設名	区分	入院(人)	外来(人)	手術(件)	相談(外来・電話) (件)
がんセンター	延べ人数	53,381	73,603	2,650	
	一日平均	292	594	14.5	
救急医療センター	延べ人数	15,253	4,982	1,764	
				138	
	一日平均	83	27	9.6	
				0.8	
精神科医療センター	延べ人数	8,256	13,869		18,156
	一日平均	45	107		99.2
こども病院	延べ人数	23,338	41,208	888	
	一日平均	128	332	7.2	
循環器病センター	延べ人数	23,141	38,811	165	
				150	
	一日平均	126	313	0.9	
				0.8	
佐原病院	延べ人数	18,147	42,631	511	
	一日平均	99	344	3.0	
計	延べ人数	141,516	215,104	5,978	18,156
				288	
	一日平均	773	1,717	35.2	99.2
				1.6	

※手術欄の2段書きの下段は、経皮経管的冠動脈形成術(P T C A)等で別掲

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げが一致しない場合がある

(注) 入院の1日平均患者数は、上期の日数により計算し、外来の1日平均患者数は、休日を除く診療日数により計算した。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
病 院 事 業 収 益	56,508,056	33,241,093	58.8 %
医 業 収 益	40,108,463	19,200,072	47.9
医 業 外 収 益	16,399,593	14,040,787	85.6
特 別 利 益		235	

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
病 院 事 業 費 用	59,016,321	25,239,036	42.8 %
医 業 費 用	57,809,482	24,811,116	42.9
医 業 外 費 用	1,206,839	427,920	35.5

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
資本的收入	16,105,182		16,105,182	3,609,679	22.4 %
企業債	13,931,000		13,931,000	1,454,000	10.4
寄附金	15,000		15,000		
国庫補助金	34,378		34,378		
他会計負担金	2,124,804		2,124,804	2,155,679	101.5

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
資本的支出	17,662,531	139,887	17,802,418	11,524,030	64.7 %
建設改良費	14,463,060	139,887	14,602,947	10,427,394	71.4
企業債償還金	3,199,471		3,199,471	1,096,636	34.3

## (2) 損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	23,695,715	医業収益	19,168,363
給与費	12,604,096	入院収益	11,906,175
材料費	7,464,391	外来収益	6,977,936
経費	3,571,808	その他医業収益	284,253
減価償却費		医業外収益	14,012,388
資産減耗費	4,717	国庫補助金	310,074
研究研修費	50,703	負担金交付金	13,349,834
長期前払消費税勘定償却		患者外給食収益	9,394
医業外費用	418,644	研究受託収益	250,050
支払利息及び企業債取扱諸費	122,034	その他医業外収益	93,037
患者外給食材料費	8,035	特別利益	231
受託研究費	78,449	過年度損益修正益	230
雑損失	210,125	その他特別利益	1
特別損失	231		
その他特別損失	231		
当期純利益	9,066,392		
合計	33,180,982	合計	33,180,982

## (3) 貸借対照表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	74,751,989	固 定 負 債	62,656,039
有 形 固 定 資 産	70,323,208	企 業 債	51,816,058
土 地	6,755,272	他 会 計 借 入 金	3,700,000
償 却 資 産	104,268,810	引 当 金	7,139,981
減 価 償 却 累 計 額	△56,582,100	流 動 負 債	8,991,544
建 設 仮 勘 定	15,847,416	企 業 債	2,102,829
その他有形固定資産	33,809	未 払 金	4,919,947
無 形 固 定 資 産	1,196,071	引 当 金	1,613,096
投 資 そ の 他 の 資 産	3,232,711	そ の 他 流 動 負 債	355,672
流 動 資 産	12,984,944	繰 延 収 益	6,758,283
現 金 預 金	2,738,423	長 期 前 受 金	32,126,868
未 収 金	7,307,278	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△25,368,585
未 収 金 貸 倒 引 当 金	△11,000	負 債 計	78,405,866
貯 蔵 品	710,862	資 本 金	12,616,892
前 払 費 用	54,580	自 己 資 本 金	12,616,892
前 払 金	31,019	剰 余 金	△3,285,825
そ の 他 流 動 資 産	2,153,782	資 本 剰 余 金	14,901,027
		利 益 剰 余 金	△18,186,852
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△18,186,852
		資 本 計	9,331,067
合 計	87,736,933	合 計	87,736,933

## Ⅱ 令和4年度の決算状況

### 1. 事業の概況

本事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供するため、高度・特殊な専門医療を取り扱う4病院（がんセンター・救急医療センター・精神科医療センター・こども病院）、循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び地域の中核医療を行う佐原病院の県立6病院を設置しており、地方公営企業法全部適用の事業として千葉県病院局が管理・運営を行っています。

令和4年度は、従来の改革プラン以上に経営を意識した「千葉県立病院改革プラン」（計画期間：令和3年度～令和6年度）の2年目であり、収益確保や経費削減などの業務改善に取り組みました。

また、千葉県立病院群として初期臨床研修医24名、レジデント医38名を受け入れるなど、医師の確保・育成に努めました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、重症病床を含む専用病床を確保して患者を受け入れたほか、宿泊療養施設やクラスターが発生した施設に対して医療従事者を派遣し、利用者の健康管理やPCR検査の実施等の支援を行うとともに、発熱外来等の専用外来を開設して感染症の疑いのある患者の診療や相談を行いました。また、各県立病院において地域の住民や他の医療機関等の医療従事者へのワクチン接種を行いました。

さらに、県が令和3年2月にがんセンター旧東病棟に開設した仁戸名臨時医療施設の運営を受託し患者を受け入れるとともに、県が設置した入院待機ステーションにも看護師を派遣しました。

令和4年度の患者数の状況は、新入院患者が19,641人（延べ267,594人、一日平均733人）、新外来患者が32,131人（延べ429,450人、一日平均1,749人）となり、前年度と比較して、新入院患者は839人増加（延べ8,138人増加、一日平均22人増加）し、新外来患者は1,734人増加（延べ16,423人増加、一日平均59人増加）となりました。

なお、各病院の事業概況は、次のとおりです。

#### (1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは、「私たちは、心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ、がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に、質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは、都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており、県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い、県内がん医療の均てん化に貢献しています。

また、がんゲノム医療拠点病院の指定もを受けており、県内のがんゲノム医療連携病院とともに、遺伝子パネル検査を用い、推奨治療について検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を毎週開催して、がんゲノム医療の推進に努めました。

さらに、小児がん連携病院（類型2：特定のがん種等についての診療を行う連携病院）の指定も受けていることから、地域に質の高い小児がん医療及び支援を提供しました。

患者総合支援センターでは、ワンストップによる患者支援を実現させるため、入退院支援、在宅療養支援、各種検査・手術説明、服薬指導を実施するとともに、がん患者から生活や就労に関する相談を受け、必要な支援に繋げました。さらに、当センターの見学会の開催等を通じ、周辺医療機関との連携強化に努めました。

4月には、改装工事を行っていたC棟緩和ケア病棟（25床）がリニューアルオープンし、これまでの

在宅療法の後方支援病床としての機能に加え、長期療養希望者への対応や他院からの患者受け入れなど、より多様な緩和ケアニーズに応えられる体制を整えました。

また、9月には、県民公開セミナーを開催し「開院50周年 千葉県がんセンターの最新の治療～次の半世紀への第一歩～」をテーマに、最新がん治療などについての講演を行いました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が8,142人（延べ98,204人、一日平均269人）、新外来患者が7,216人（延べ146,805人、一日平均604人）で、前年度と比較して、新入院患者は268人増加（延べ1,869人増加、一日平均5人増加）し、新外来患者は251人増加（延べ6,509人増加、一日平均24人増加）となりました。

## (2) 救急医療センター

重症患者に対する救急救命処置及び高度専門的な医療を行う第三次救急医療施設として、また、全県域を対象とする本県唯一の高度救命救急センターとして、心臓病、脳卒中、外傷などの救急患者及び重度の熱傷患者（熱傷センターにおける治療）、切断指（肢）患者に対し、治療・看護等の医療活動を行いました。なかでも、脳梗塞の超急性期治療として国内外で注目されている「血栓回収療法」について、当センターでは24時間施行可能な体制を確立しています。

救急患者の受け入れをより迅速に行うため「循環器ホットライン」「脳卒中ホットライン」を運用するとともに、患者の回復をより効果的に進めるため、早期にリハビリを開始し、地域医療連携室を介して急性期以後を担う他の医療機関と緊密な連携を図る等の取り組みを行っています。

これらの取り組みに加え、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム、精神科リエゾンチームのチーム医療活動を推進し、医療の質の向上に引き続き努めています。

当センターは地域災害拠点病院として災害医療にも対応することが求められており、自然災害はもとより、局所災害、化学災害、テロ等の人的災害にも対応できるよう、実践的訓練や人的・物的機能の整備を図るとともに、DMATを編成する等、緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

設備面においては、治療水準の向上を図るため、大動脈バルーンポンプ等を更新しました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が2,311人（延べ30,467人、一日平均83人）、新外来患者が617人（延べ9,478人、一日平均26人）で、前年度と比較して、新入院患者は374人増加（延べ5,758人増加、一日平均15人増加）し、新外来患者は214人増加（延べ1,047人増加、一日平均3人増加）となりました。

## (3) 精神科医療センター

当センターは、千葉県精神科医療システムの中核医療施設として、24時間体制での救急受診相談、受け入れ医療機関のコーディネート及び当センターでの救急受診などに尽力しました。当センターへの入院患者に対しては短期集中医療を提供し、早期の地域移行を目指し、退院後の患者については、一般外来診療のほか、アウトリーチや通院によるリハビリテーションを実施し、患者の地域生活の支援や再発・再入院防止に努めました。

こうした質の高い医療を提供するため、千葉県救急システム連携研修会や日本精神科救急学会等へ参加してきました。院内においても医療安全研修、感染症対策研修、包括的暴力防止プログラム研修を積極的に開催し、安心・安全な医療の提供に努めました。

また、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の技能維持のため、DPAT事務局主催の研修・訓練に参加しました。

その他、医療観察法による鑑定入院・指定通院医療を行うとともに、措置入院患者の地域移行・治療



継続支援を行い、精神障害により重大な自傷他害を行った、またそのおそれが高い患者を治療し、地域で安定して生活できるように支援しました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が 317 人（延べ 15,713 人、一日平均 43 人）、新外来患者が 429 人（延べ 27,165 人、一日平均 107 人）で、前年度と比較して、新入院患者は 27 人減少（延べ 939 人減少、一日平均 3 人減少）し、新外来患者は 22 人増加（延べ 1,059 人増加、一日平均 4 人増加）となりました。

#### (4) こども病院

県内の小児医療の拠点として、一般の医療機関では対応が困難な難病や重症の患者、先天性心疾患をはじめとした重篤な外科的疾患の患者に対して、「児童の権利に関する条約」の基本理念のもとに、高度専門的な医療、総合的な医療を提供しています。

6月に公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価を受審し、今回で4度目更新の認定を受けました。

今年度より、いかなる状況においても、こども病院の機能を可能な限り発揮して課された役割をはたすため、診療科の枠組みにとらわれない柔軟で効率的な病床管理を集中化して行うことを目的とした病床管理室を設置して、緊急時にも対応できるよう病床運用を行い、早期入退院支援については、入院が決定した時点から介入、退院支援チェックシートを活用し、多職種とともに退院支援・在宅支援を推進しました。

また、地域の医療機関や訪問看護ステーション、学校等と連携し、在宅療養環境を調整したり、小児臨床症例研究会や県民公開講座の開催、小児等在宅医療連携拠点事業として千葉県看護協会や医療的ケア児支援センターの企画する研修会に講師として参加し小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。児童虐待防止医療ネットワーク事業として、児童虐待の早期発見や深刻化の未然防止にむけた取り組みとして、研修会の開催や冊子（児童虐待 Q&A）を作成しました。成人移行支援については、トランジション外来の運営や、千葉県移行期医療支援センターと連携して事例検討、各部署にリンクナースをおき、移行支援に取り組む等成人移行支援を推進しました。

医療安全対策においては、リスクマネジャーを中心に全職員で取り組んだ患者誤認対策について報告会を実施し、医療安全確保に向けた改革をさらに進める等、安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。

経営面では、今年度から特定集中治療室（ICU）を医師の配置基準が満たされたため、小児特定集中治療室（PICU）へ変更申請し、さらに令和4年度診療報酬改定の新たな施設基準の加算を取得、診療群分類包括評価係数（DPC係数※）の増点に努め収益の増加を図りました。

当期における患者数の状況は、新入院患者が 3,437 人（延べ 42,024 人、一日平均 115 人）、新外来患者が 5,941 人（延べ 83,147 人、一日平均 342 人）で、前年度と比較して、新入院患者は 156 人増加（延べ 1,407 人増加、一日平均 4 人増加）し、新外来患者は 546 人増加（延べ 79 人増加、一日平均 1 人減少）となりました。 ※Diagnosis Procedure Combination:診断群分類

#### (5) 循環器病センター

当センターは、循環器系疾患に関する高度専門的な医療を行うとともに、内科や外科等の地域医療・救急医療を行い、地域の救急基幹センターとしての役割を担っています。

循環器系疾患に関する高度専門医療として、急性心筋梗塞、狭心症に対する経皮的冠動脈形成術、心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療、大動脈ステント治療などを行うとともに、植え

込み型デバイス治療において、不適切作動症例、デバイス感染など、植え込まれたリードを含めたデバイス抜去が必要となる患者に対する「リード抜去術」や、通常の経皮的バルーン血管形成術（POBA）が困難な症例に対する「エキシマレーザ冠動脈形成術」・従来の外科手術よりも負担が少なくこれまで手術を受けることが困難な患者に対する「経皮的僧帽弁接合不全修復術」といった治療を行っています。

当センターでは、院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し、内科治療や「難治性てんかん」に対する外科治療、社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでおり、本年度は昨年度に引き続き、てんかんの専門医療を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とし、「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けました。

令和4年度の取組みとして、12月より千葉県てんかん診療連携運営委員会を立ち上げ、県内の主要なてんかん専門医療施設と協働し、県のてんかん診療連携体制の構築に取り組んでいます。

当センターは、災害拠点病院として災害医療に対応するとともに、DMATを編成する等、自然災害はもとより、人的災害等の緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

当期における患者数の状況は、新入院患者が3,095人（延べ45,902人、一日平均126人）、新外来患者が6,127人（延べ78,274人、一日平均322人）で、前年度と比較して、新入院患者は39人増加（延べ2,741人増加、一日平均8人増加）し、新外来患者は554人増加（延べ3,870人増加、一日平均15人増加）となりました。

#### (6)佐原病院

当院は、高齢化が進展している香取地域において急性期医療を支える中核病院として、高齢者に多い肺炎、呼吸不全、消化器系疾患、脱水症、大腿骨骨折などへの対応のほか、罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに、人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として、障害のある方や児童への歯科治療、整形外科において手の外科、肩・肘関節、スポーツ整形の専門外来を行うほか、肝臓専門外来や地域包括ケア外来では千葉大学医学部附属病院と連携し各専門領域の外来診療を行っています。

また、救急基幹センターとして引き続き24時間365日の救急外来を担うほか、災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに、DMATを編成するなど、緊急時に出勤できる体制整備に努めています。

さらに、24時間患者対応が可能である訪問看護ステーションでは、地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。また、香取郡市医師会より当院が運営を受託している「かとり地域在宅医療支援センター」では、患者・家族、医療・介護関係者や地域包括支援センターなどからの在宅医療に関する相談に対応するとともに、医療と介護関係者の連絡調整や、患者・家族の要望を踏まえた医療機関・介護事業者相互の紹介など、地域の医療機関や介護関係者などと連携を図りながら必要な支援を行っています。

加えて、令和3年4月1日に在宅療養支援病院の認定を受け、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう訪問診療・訪問看護と連携を取り、緊急時には在宅療養を行っている患者が直ちに入院できるような体制を整備することによって、急性期医療だけではなく、在宅療養を担う地域の中核病院としての役割を果たしています。

当期における患者数の状況は、新入院患者が2,339人（延べ35,284人、一日平均97人）、新外来患者が11,801人（延べ84,581人、一日平均348人）で、前年度と比較して、新入院患者は29人増加（延べ2,698人減少、一日平均7人減少）し、新外来患者は147人増加（延べ3,859人増加、一日平均14人

増加) となりました。

(7) 患者数の状況

施設名	区分	入院(人)	外来(人)	手術(件)	相談(外来・電話) (件)
がんセンター	延べ人数	98,204	146,805	5,347	
	一日平均	269	604	14.6	
救急医療センター	延べ人数	30,467	9,478	2,713	
				335	
	一日平均	83	26	7.4	
				0.9	
精神科医療センター	延べ人数	15,713	27,165		35,079
	一日平均	43	107		96.1
こども病院	延べ人数	42,024	83,147	1,555	
	一日平均	115	342	4.3	
循環器病センター	延べ人数	45,902	78,274	321	
				286	
	一日平均	126	322	0.9	
				0.8	
佐原病院	延べ人数	35,284	84,581	1,026	
	一日平均	97	348	2.8	
計	延べ人数	267,594	429,450	10,962	35,079
				621	
	一日平均	733	1,749	30.0	96.1
				1.7	

※手術欄の2段書きの下段は、経皮経管的冠状動脈形成術（PTCA）等で別掲

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げが一致しない場合がある

(注) 入院の1日平均患者数は、年間の日数により計算し、外来の1日平均患者数は、休日を除く診療日数により計算した。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業収益	54,361,351		54,361,351	56,523,496	104.0 %
医業収益	35,528,628		35,528,628	35,867,689	101.0
医業外収益	18,817,190		18,817,190	20,640,412	109.7
特別利益	15,533		15,533	15,396	99.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業費用	58,306,241		58,306,241	57,070,956	97.9 %
医業費用	56,971,302		56,971,302	55,999,019	98.3
医業外費用	1,308,982		1,308,982	1,046,362	79.9
特別損失	25,957		25,957	25,575	98.5

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
資本的收入	8,852,388	564,927	9,417,315	7,318,539	77.7 %
企業債	6,907,000	511,500	7,418,500	5,705,000	76.9
他会計負担金	1,911,113	53,427	1,964,540	1,583,250	80.6
寄附金	18,987		18,987	17,104	90.1
国庫補助金	15,288		15,288	13,185	86.2

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰越分	計		
資本的支出	10,137,400	610,865	10,748,265	8,550,112	79.5 %
建設改良費	7,471,160	610,865	8,082,025	5,883,878	72.8
企業債償還金	2,666,154		2,666,154	2,666,148	100.0
国庫補助金等返還金	86		86	86	100.0

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	53,765,283	医業収益	35,810,155
給与費	27,537,706	入院収益	22,604,968
材料費	14,149,613	外来収益	12,708,390
経費	7,940,641	その他医業収益	496,797
減価償却費	3,564,284	医業外収益	20,576,672
資産減耗費	47,637	国庫補助金	4,104,861
研究研修費	129,237	負担金交付金	13,687,224
長期前払消費税勘定償却	396,165	患者外給食収益	18,393
医業外費用	3,177,454	研究受託収益	546,775
支払利息及び企業債取扱諸費	242,230	長期前受金戻入	1,821,112
患者外給食材料費	15,261	その他医業外収益	398,306
受託研究費	317,556	特別利益	15,373
雑損失	2,602,408	過年度損益修正益	15,343
特別損失	25,574	その他特別利益	30
過年度損益修正損	25,574	当期純損失	566,111
合計	56,968,311	合計	56,968,311

## (3) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	65,264,304	固 定 負 債	61,202,039
有 形 固 定 資 産	60,835,522	企 業 債	50,362,058
土 地	6,755,272	他 会 計 長 期 借 入 金	3,700,000
償 却 資 産	102,777,251	引 当 金	7,139,981
減 価 償 却 累 計 額	△56,582,100	流 動 負 債	13,363,265
建 設 仮 勘 定	7,851,290	企 業 債	3,199,465
その他有形固定資産	33,809	未 払 金	8,445,846
無 形 固 定 資 産	1,196,071	引 当 金	1,613,096
投 資 そ の 他 資 産	3,232,711	そ の 他 流 動 負 債	104,857
流 動 資 産	14,167,803	繰 延 収 益	4,602,360
現 金 預 金	3,447,283	長 期 前 受 金	29,970,945
未 収 金	9,416,362	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△25,368,585
貯 蔵 品	700,109	負 債 計	79,167,663
前 払 費 用	538	資 本 金	12,616,892
前 払 金	614,511	自 己 資 本 金	12,616,892
		剰 余 金	△12,352,448
		資 本 剰 余 金	14,901,027
		利 益 剰 余 金	△27,253,475
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	△27,253,475
		資 本 計	264,444
合 計	79,432,107	合 計	79,432,107



## 5. 流域下水道事業会計

# I 令和5年度上期の事業概況

## 1. 事業の概況

流域下水道事業は、2以上の市町村から下水を受けて、終末処理場で集約して処理するもので、都道府県が管理する下水道です。

千葉県では、県民の生活環境の向上とともに公共用水域の広域的な水質保全という観点から、昭和43年度に印旛沼流域下水道、昭和46年度に手賀沼流域下水道、昭和47年度に江戸川左岸流域下水道にそれぞれ事業着手し、市街地の生活環境整備と公共用水域の水質保全に重要な役割を担っています。

また、江戸川左岸流域下水道では、流入汚水量の増加に対応するために整備を進めてきた江戸川第一終末処理場の一部施設の供用を令和3年3月1日に開始しました。

本期における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は、1億8,892万6,507立方メートルです。なお、各流域の業務状況は次のとおりです。

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

流域名	関連市町数	本期流入水量	日平均流入水量
印旛沼	13	77,493,692 <sup>m<sup>3</sup></sup>	423,463 <sup>m<sup>3</sup></sup>
手賀沼	7	39,517,792	215,944
江戸川左岸	8	71,915,023	392,978
計	20 <sup>※1</sup>	188,926,507	1,032,385

※1 1市が全流域に、2市が印旛沼・手賀沼に、1市が印旛沼・江戸川左岸に、3市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため、重複分を除く。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業収益	36,062,073	968,245	37,030,318	12,052,928	32.5 %
営 業 収 益	24,194,942	968,245	25,163,187	12,043,987	47.9
営 業 外 収 益	11,867,131		11,867,131	8,941	0.1

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業費用	36,062,073	968,245	37,030,318	6,459,162	17.4 %
営 業 費 用	35,513,519	968,245	36,481,764	6,340,957	17.4
営 業 外 費 用	548,554		548,554	118,205	21.5

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	13,229,434	4,811,144	18,040,578	1,361,056	7.5 %
国 庫 補 助 金	5,645,700	2,653,040	8,298,740		
企 業 債	2,725,300	1,077,800	3,803,100		
建 設 費 負 担 金	2,722,112	1,080,304	3,802,416	1,361,056	35.8
他 会 計 補 助 金	2,136,322		2,136,322		

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	14,485,728	4,813,648	19,299,376	2,216,629	11.5 %
建 設 改 良 費	10,633,915	4,811,935	15,445,850	1,454,357	9.4
資 産 購 入 費	456,012	1,713	457,725	2,643	0.6
企 業 債 償 還 金	1,461,362		1,461,362	759,629	52.0
そ の 他 資 本 的 支 出	1,934,439		1,934,439		

## (2) 損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	12,581,876	営 業 収 益	10,949,177
管 渠 費	29,664	維 持 管 理 費 負 担 金	10,938,998
ポ ン プ 場 費	126,181	そ の 他 営 業 収 益	10,179
処 理 場 費	5,469,470		
総 係 費	160,935	営 業 外 収 益	5,798,805
減 価 償 却 費	6,795,626	長 期 前 受 金 戻 入	5,790,191
		雑 収 益	8,614
営 業 外 費 用	118,205		
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	118,205		
当 期 純 利 益	4,047,901		
合 計	16,747,982	合 計	16,747,982

## (3) 貸借対照表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	376,336,960	固 定 負 債	44,979,914
有 形 固 定 資 産	368,568,553	企 業 債	44,979,914
土 地	62,270,245		
償 却 資 産	334,301,587	流 動 負 債	9,368,975
減 価 償 却 累 計 額	△40,766,948	企 業 債	2,090,530
建 設 仮 勘 定	12,763,669	未 払 金	1,135,083
無 形 固 定 資 産	17,612	前 受 金	4,156,884
投 資 そ の 他 の 資 産	7,750,795	そ の 他 流 動 負 債	1,986,478
流 動 資 産	15,809,762	繰 延 収 益	259,791,780
現 金 預 金	5,040,974	長 期 前 受 金	294,499,690
未 収 金	5,577,154	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△34,707,910
前 払 費 用	302,814		
前 払 金	1,471,585	負 債 計	314,140,669
そ の 他 流 動 資 産	3,417,235		
		資 本 金	24,827,191
		剰 余 金	53,178,862
		資 本 剰 余 金	47,427,138
		利 益 剰 余 金	5,751,724
		資 本 計	78,006,053
合 計	392,146,722	合 計	392,146,722

## Ⅱ 令和4年度の決算状況

### 1. 事業の概況

令和4年度における流域下水道事業は、令和2年3月に策定した「千葉県流域下水道事業経営戦略」に基づく取組を実施し、「快適で良好な生活環境の創造」、「安全で安心なまちづくり」、「安定した経営基盤の確立」の3つを目標として事業を推進しました。

#### (1) 工事の状況

江戸川左岸流域下水道では、流入汚水量の増加に対応するために江戸川第一終末処理場の整備を推進しているところですが、令和4年度は、江戸川第一終末処理場水処理第2系列土木工事等を実施しました。

また、「千葉県流域下水道ストックマネジメント計画」及び各流域「総合地震対策計画」に基づき、施設の改築・更新、地震対策工事等を実施しました。

#### (2) 業務の状況

令和4年度における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は3億7,371万5,508立方メートル、日平均流入水量は102万3,879立方メートルでした。

各流域の業務状況は次のとおりです。

流域名	関連市町数	年間流入水量	日平均流入水量
印旛沼	13 <sup>市町</sup>	152,159,247 <sup>m<sup>3</sup></sup>	416,875 <sup>m<sup>3</sup></sup>
手賀沼	7	79,536,969	217,910
江戸川左岸	8	142,019,292	389,094
計	20 <sup>※1</sup>	373,715,508	1,023,879

※1 1市が全流域に、2市が印旛沼・手賀沼に、1市が印旛沼・江戸川左岸に、3市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため、重複分を除く。

2. 経理の状況

(1) 予算の執行状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業収益	35,155,171		35,155,171	33,502,085	95.3 %
営 業 収 益	23,460,628		23,460,628	21,698,252	92.5
営 業 外 収 益	11,621,891		11,621,891	11,668,554	100.4
特 別 利 益	72,652		72,652	135,279	186.2

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
流域下水道事業費用	35,155,171	248,683	35,403,854	33,257,939	93.9 %
営 業 費 用	34,382,845	248,683	34,631,528	32,606,845	94.2
営 業 外 費 用	641,440		641,440	573,742	89.4
特 別 損 失	3,770		3,770	77,352	2051.8
予 備 費	127,116		127,116		



イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 収 入	10,049,874	4,507,008	14,556,882	9,196,407	63.2 %
国 庫 補 助 金	3,743,600	2,511,590	6,255,190	3,560,390	56.9
企 業 債	2,176,000	986,200	3,162,200	1,893,200	59.9
建 設 費 負 担 金	2,012,262	1,009,218	3,021,480	1,624,805	53.8
他 会 計 補 助 金	2,118,012		2,118,012	2,118,012	100

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額	執 行 率
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資 本 的 支 出	11,318,092	4,530,025	15,848,117	10,526,639	66.4 %
建 設 改 良 費	7,405,979	4,530,025	11,936,004	6,625,630	55.5
資 産 購 入 費	362,146		362,146	351,045	96.9
企 業 債 償 還 金	1,623,624		1,623,624	1,623,621	100.0
そ の 他 資 本 的 支 出	1,926,343		1,926,343	1,926,343	100

## (2) 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	30,905,338	営 業 収 益	19,725,683
管 渠 費	292,286	維 持 管 理 費 負 担 金	19,614,444
ポ ン プ 場 費	385,640	そ の 他 営 業 収 益	111,239
処 理 場 費	16,454,964		
総 係 費	467,895	営 業 外 収 益	11,668,045
減 価 償 却 費	13,292,467	他 会 計 補 助 金	267,648
資 産 減 耗 費	12,086	長 期 前 受 金 戻 入	11,389,076
		雑 収 益	11,321
営 業 外 費 用	342,130		
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	329,198	特 別 利 益	135,279
そ の 他 営 業 外 費 用	12,932	そ の 他 特 別 利 益	135,279
特 別 損 失	77,352		
そ の 他 特 別 損 失	77,352		
当 期 純 利 益	204,187		
合 計	31,529,007	合 計	31,529,007

## (3) 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産		負 債 及 び 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	375,001,120	固 定 負 債	44,979,914
有 形 固 定 資 産	367,233,475	企 業 債	44,979,914
土 地	62,270,245		
償 却 資 産	334,299,877	流 動 負 債	13,884,682
減 価 償 却 累 計 額	△40,766,948	企 業 債	2,850,159
建 設 仮 勘 定	11,430,301	未 払 金	7,269,321
無 形 固 定 資 産	16,850	前 受 金	2,919,561
投 資 そ の 他 の 資 産	7,750,795	引 当 金	78,752
		そ の 他 流 動 負 債	766,889
流 動 資 産	16,607,973		
現 金 預 金	9,409,469	繰 延 収 益	259,791,781
未 収 金	4,918,350	長 期 前 受 金	294,499,691
前 払 費 用	122,084	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△34,707,910
前 払 金	769,270		
そ の 他 流 動 資 産	1,388,800	負 債 計	318,656,377
		資 本 金	24,827,191
		剰 余 金	48,125,525
		資 本 剰 余 金	47,427,137
		利 益 剰 余 金	698,388
		資 本 計	72,952,716
合 計	391,609,093	合 計	391,609,093